令和5年度 第2学期終業式 式辞

こんにちは。

2学期終業式に当たり、今日は皆さんに、二つ話をします。

一つは、個人的なことになるのですが、今月2日、私の父が亡くなりました。

9月まで元気に過ごしていたのですが、徐々に体調を崩し、最後は 安らかに永眠しました。82才でした。

通夜、葬儀と私は、涙を見せず、意識して気丈に過ごしましたが、 その後、父の遺品整理にとりかかってからは、涙が止まりませんで した。なぜかというと、父は、几帳面で何でも捨てずにとっておいた からです。父の机の引き出しからは、私の小学生から高校生までの 通知表など、数々の私の成長の記録が袋に入れて整理されていまし た。

そして、私が一番はっとしたのが、昭和53年、私が中学生の時の 父の日にプレゼントした「マッサージ券」を見つけたときです。

10枚のチケットが入っており、次のような使用上の注意を中学生の私は書いていました。少し生意気で、笑ってしまうのですが、「あなたは、マッサージをしてもらう人だから、してやる人には、とてもおだてること」

「マッサージをしてもらうときは、始めにおねがいします。終わり にはありがとうございましたということ」

当時の私は、おそらく、ジョークのつもりで渡したのでしょうが、 父にとってはとても嬉しかったのか、大事に保管されていました。 父が亡くなった今となっては、そんな券などなくていいから、何 時間でもマッサージをしてあげたいのですが、残念でなりません。

皆さんへのお話ですが、私のマッサージ券がそうであったように、何気なくプレゼントしたものや、簡単な感謝の言葉、褒め言葉であっても、その人にとっては、一生の思い出や宝物になる場合もあるということです。

そうであるならば、私たちは普段の生活の中で、お互い感謝しあ うような言葉かけや生活を心がけるべきだと私は思います。そんな お互いが誉め合い、認め合う、何気なく感謝の気持ちをプレゼント する、そんな雰囲気である若松商業高校であってほしいと私は思い ます。

次に2つ目の話です。

私は4月からほとんど毎日、朝8時15分から約10数分、昇降口に立って、「おはよう」と生徒に挨拶をしてきました。3人きたら3回、5人来たら5回、「おはよう」と挨拶をしました。たった10数分ですが、私にとっては、生徒と関わる貴重な時間です。

9ヶ月間立ってきましたが、その時間帯に来るメンバーは、ほとんど同じで、規則正しい生活をしているなと私は受け取っています。

その反面、今、本校の課題の一つとして、朝ホームルームの遅刻があげられます。この遅刻については、朝ホームルームの開始時刻を遅らせることで解決するとは思えません。皆さんの意識の問題です。進学または就職するにしても、健康管理はとても大切ですし、決まった時間に登校、出勤することは、社会では皆さんに求められる資質です。年度当初から話していますが、私は、皆さんを応援したい。生活管理を立派に身につけてほしいと考えています。

そこで、校長として、3学期に試行として行う新たな取組について説明します。

規則正しく、朝ホームルームが始まる8時45分まで登校している生徒を月ごとに集計し、出席皆勤、無遅刻無欠席の生徒を、月間皆勤賞として、1月、2月、3月に、それぞれ個人個人に表彰いたします。

たとえーヶ月間でも、一日も学校を休まずに登校するのは、簡単なことではありません。体調管理だけでなく、家族内や友人との関係で、今日は学校に行きたくないなと思うときもあるでしょう。そのような気持ちとうまく向き合った結果の出席皆勤と考えます。

どうぞ皆さん、1,2年生は、1月、2月、3月の三回、3年生は 1月の1回だけになりますが、月間出席皆勤を目指して、頑張って みてください。

そして、1、2年生は、3年生になったとき進学や就職で自己推薦書を学校に提出する際、月間皆勤賞のことを記述し自己 PR をしてください。そういう意味で、月間皆勤賞をとることを学校生活の目標の一つと考えてほしいです。

また、その皆勤賞は、もちろん皆さんの取組の成果ですが、私は保護者の方々の協力があってこその皆勤賞だと考えます。どうぞその皆勤賞を保護者の方に、「1月は皆勤賞をもらったよ。」と言って渡してみてください。その皆勤賞は、私が父に渡したマッサージ券のように、保護者の方にとっては子育ての証、宝物になると信じます。

以上、本日の話は、お互い誉め合いながら学校生活を送る、そして 3学期新たに導入する月間皆勤賞についてでした。

令和6年が皆さんにとって、飛躍する年になりますことを祈念して、式辞といたします。